

UNITE
FOR
GOOD

2025～2026 年度

大船渡西ロータリークラブ会報

七福人



よいことのために 手を取り合おう

RI 会長テーマ

会 長 菅野 嘉洋

副会長 三田地大悟

幹 事 松田 福美

＝会長指針＝

そして社会も磨きましよう

．．． 例 会 記 録 ．．．

7 月第 5 回例会 2025 年 7 月 31 日（木）

ソ ン グ : 奉仕の理想 ボックス : 13,000 円 (報告者 今野義也 会員)
本日出席率 : 48.39% 前回修正後 70.97% (メークアップ 2 名) (報告者 藤原太伸 会員)

★ 会長の時間 : 菅野 嘉洋 会長



今日は「気仙沼サンセットクルーズに参加して」のお話をしたいと思います。
27 日の日曜日に気仙沼南ロータリークラブが主催しております気仙沼湾の
サンセットクルーズに幹事の松田さんとともに参加してきました。

大島汽船のフェリーで内湾地区の船着場から出船し、大島を半周するような
感じで気仙沼湾内を巡る大体 2 時間くらいのクルーズでした。

出船してすぐに気仙沼南 RC の例会が開会。例会が終わると参加した各 RC
会長からの挨拶を挟み乾杯へ。乾杯が終わると各々歓談となり、お酒、お弁
当を楽しんだり、うみねことたわむれたり、気仙沼湾や大島の景色を楽しんだり、クルージングという
非日常の空間を満喫し、あっという間の 2 時間でした。

参加者は気仙沼南 RC を始め近隣のロータリークラブの人達、各奉仕団体の人達、そのご家族など、ざっ
と 50 人くらいはいたでしょうか、にぎやかな船内でしたが、その中で陸前高田クラブの会長である柴田
さんが、中・高校生くらいの女の子を 3 名連れて参加しておりました。聞くと柴田さんは陸前高田市内で
行われている民泊の事業に参加し受け入れ家庭に登録しているとのこと。3 人の女の子達は課外授業？で
訪れた東京は多摩市の中・高校生の子供たちとのことでした。今日東京から 2 泊 3 日の予定で陸前高田
に入り、柴田家へチェックインする前にこのクルージングへ連れてこられたとのことでしたが、都会には
ない三陸の海の景色やうみねこへのえさやりなどを体験し、とても楽しんでいる様子でした。

興味があったので柴田会長に少し民泊について聞いてみました。面白いと思ったのは、受け入れた子供た
ちにどのような体験をさせるのは、受け入れた家庭にほぼ委ねられているというお話でした。なので、今
回柴田さんのところに民泊するグループはクルージングに参加しているけど、他のグループは陸前高田
市内を見て回ったり、あるいは草取りとかの作業を体験させられたり、と受け入れ家庭によって体験する
ことが全く異なる。もちろん食事も受け入れ先でそれぞれだそうです。だから子供たちにとっては、受け
入れ先によって当たりはずれがあるんだよ、と柴田さんは笑っておっしゃっておりました。ただ、その短
い時間でも受け入れると子供たちに対しすごく情がわく、子供たちが楽しんでくれると私たちもとても
うれしい気分になるんだとおっしゃっていたのが、とても印象的でした。柴田さんのところでは多いとき
は月に 2 回受け入れることもあるそうです。民泊も事業なので当然入ってくるお金もあると思いますが、
これも立派な奉仕の一つだなあと感じました。

私たち西クラブにも「架け橋の翼」という子供たちの交流事業があります。コロナ禍等もありここ数年は
停滞しておりますが、柴田さんが民泊をやってよかったと感じているように、得られるものは多くあるの
ではないでしょうか。会員数が少なくなっている現在、受け入れるにもなかなかハードルが高くなってい
ると思いますが、きっかけがあれば前向きに検討していきたいと思っています。

ご清聴ありがとうございました。

7月27日(日)気仙沼南ロータリークラブ主催のサンセットクルージング



◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ガバナー事務所より

❖ 10月24日の「世界ポリオデー」に合わせ開催される

「エンドポリオデー イベント フォトンテスト 2025」への参加のお願いが届いています。

対象活動期間 2024年11月～2025年10月末 応募締め切り 2025年11月15日

❖ ロータリー財団セミナー・補助金管理セミナー開催の案内が届いています。

日 時 8月30日(土)9時30分受付～15時閉会

場 所 仙台育英学園宮城野校舎

登録料 1人2,000円(昼食あり)

締め切 8月20日

義務出席者 会長 R財団委員長

2 国際ソロプチミスト大船渡より認証30周年記念式典・祝賀会開催の案内が届いています。

日 時 10月17日(金)10時～登録

場 所 大船渡プラザホテル

登録料 13,000円

締め切 9月12日

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

フリーアワー：会員卓話

★ 濱守豊秋：ガバナーを経験して



・東日本大震災の復興支援に携わっていた際 江刺の菊地弘尚 PG・二戸の小野寺則夫 PG にガバナー就任の打診を受けたが、その時は復興支援で手がいっぱい無理だとお断りした。

その2年後、再度お話を頂き、2016 - 17 年度のガバナーをお引き受けした。

・ガバナー年度の3カ月前の会議で、アメリカ・サンディエゴで行われる国際会議の席で日本のガバナー夫人が踊りを披露するのが習わしだとの

話がで、妻の提案で「花笠踊り」を披露し、大きな拍手を頂く。

・ガバナー年度の7月1日の懇談会で、2520 地区のガバナーは「財団寄付 0 クラブ」を 0 にするようにとの使命を受け、それを目標にガバナー年度をスタート。

これを実現するために、各クラブのどの方と話をし、どのように説得していくか、ガバナー事務所の事務局員さんからも情報を頂きながら、ガバナー公式訪問は、通常何クラブかが合同で行う事も多いが、私の年度は、クラブ単位で行うこととした。

・田口良一 PG・絢子夫人がご夫婦で会員となっておられる、盛岡北 RC を訪問した際、絢子会員が震災復興に一生懸命がために体調を崩されたとの話を伺い、皆のためになるには自分の体調管理が必要と再認識。

私は、田口さんがガバナーの時に入会し、公式訪問の際直接会員証を頂戴している。

・菅野多利男 PG は、お会いした際 90 才を超えておられたと思いますが、歴代の PG の中で私の事が一番好きだとおっしゃって下さったことに感謝。

・ガバナー年度の地区大会を 11 月に地元で開催した。

理由：アワビを皆さんにご馳走したかったから。会社の人たちが色々なアワビ料理を作ってくれ、参加者の皆さんに大喜びされ、「アワビガバナー」との名前が付いた。

年度終了のガバナー懇談会で 2520 地区の「財団寄付 0 クラブ」が 0 になったとの報告を受けガバナー年度を無事終了いたしました。

クラブ会員の皆さんのご協力。特に地区幹事の門田崇会員、副幹事の錦山功会員のご協力に感謝しています。